

# 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況及び点検・評価

砂川市子ども・子育て会議

# 砂川市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について

## 1. 基本的な考え方

砂川市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価結果に基づき、適宜事業計画の見直しを行います。  
PLAN（計画）→DO（計画登載事業の実施）→CHECK（点検・評価）→ACTION（事業の継続または見直し）というPDCAサイクルに基づき、各事業を計画の趣旨に照らし、より意義や価値の高いものにしていきます。

## 2. 点検・評価の実施主体

砂川市子ども・子育て支援事業計画の策定主体は、砂川市であることから、市による内部点検・評価を基本としますが、点検・評価の過程を開かれたものとするため、「砂川市子ども・子育て会議」に点検・評価内容を提示し、意見を聴取のうえ決定します。

## 3. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、事業の実績や利用状況等に基づき定量的に判断する必要があることから、「地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保の内容と時期（第4章、P27～35）」に記載の事業のうち、「量の見込み」および「確保の方策」が設定されている事業について行うものとします。

## 4. 点検の方法

点検・評価の方法項目は、つぎのとおりとします。

- ・具体的な取組みと実施の状況（利用者数・従事者数など）
- ・事業の結果・成果
- ・次年度へ向けての課題や実施の方向性

## 5. 評価基準

点検に基づく評価基準は、つぎのとおりとします。

A	計画どおりに進捗している
B	課題はあるが前進している
C	計画を下回る
N	事業の実施なし

<留意点>

\*評価基準（数値）は満たさないが、事業の性質上、適正であると認められる場合は、「砂川市子ども・子育て会議」から意見を聴取のうえ判断する。

## 平成30・31年度 砂川市子ども・子育て支援事業計画点検・評価一覧表

事業 番号	事業名	評価				
		H27	H28	H29	H30	H31
(1)	利用者支援事業	C	C	C	C	C
(2)	地域子育て支援拠点事業	A	A	A	C	C
(3)	妊婦健診事業	A	A	A	A	A
(4)	乳児家庭全戸訪問事業	A	A	A	A	A
(5)	養育支援訪問事業その他要保護児童等に対する支援に資する事業	C	A	A	A	A
(6)	子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）	N	N	N	N	N
(7)	① 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）【就学児】	C	C	A	A	A
	② 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）【未就学児】	C	C	C	C	C
(8)	① 一時預かり事業（幼稚園の一時預かり）	A	A	A	A	C
	② 一時預かり事業（保育所等の一時預かり）	C	C	C	A	B
(9)	時間外保育事業（延長保育）	A	A	A	A	A
(10)	病児保育事業、子育て援助活動支援事業（病児・緊急対応強化事業）	N	B	B	B	B
(11)	放課後児童健全育成事業	A	A	A	A	A

砂川市子ども・子育て支援事業計画点検・評価管理票 【地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保内容と実施時期】

事業名	(1) 利用者支援事業	第4章-6-(1)	計画掲載 P.27
-----	-------------	-----------	-----------

事業概要 子どもや保護者が、保育所・幼稚園での学校教育・保育や一時預かり、学童保育等の地域子育て支援事業の中から適切なものを選択し円滑に利用できるよう、情報提供や相談を含めた支援を行う事業。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込（箇所数）		1	1	1	1	1
確保方策（箇所数）		—	—	—	—	—
実績（箇所数）		0	0	0	0	0
評価	A 計画どおり	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>
	B 課題はあるが前進					
	C 計画を下回る					
	N 実施なし					
具体的な取組みと実施状況（利用者数・従事者数など）		未実施 （子育て支援センターにおいて保護者からの各種相談に応じているが、本事業として実施しているものではない）	未実施 （子育て支援センターにおいて保護者からの各種相談に応じているが、本事業として実施しているものではない）	未実施 （子育て支援センターにおいて保護者からの各種相談に応じているが、本事業として実施しているものではない）	未実施 （子育て支援センターにおいて保護者からの各種相談に応じているが、本事業として実施しているものではない）	未実施 （子育て支援センターにおいて保護者からの各種相談に応じているが、本事業として実施しているものではない）
事業の結果・成果		未実施	未実施	未実施	未実施	未実施
次年度に向けての課題や実施の方向性		国の地方創生の動きとともに子育て世代包括支援センター設置の流れができつつあり、その体制整備とともに検討する必要がある。	子育て世代包括支援センター設置や、体制整備について検討するとともに、子育て支援センターで行っている相談業務についても継続して実施していく。	子育て世代包括支援センター、子ども家庭総合支援拠点の設置について検討するとともに、現在行っている子育て支援センターの相談業務を充実させる。	子育て世代包括支援センター、子ども家庭総合支援拠点の設置について検討するとともに、現在行っている子育て支援センターの相談業務を充実させる。	子育て世代包括支援センター、子ども家庭総合支援拠点の設置について検討するとともに、現在行っている子育て支援センターの相談業務を充実させる。

砂川市子ども・子育て支援事業計画点検・評価管理票 【地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保内容と実施時期】

事業名	(2) 地域子育て支援拠点事業	第4章-6-(2)	計画登載 P.27
-----	-----------------	-----------	-----------

事業概要 公共施設や保育所、公民館等の地域の身近な場所で、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を実施する事業。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込(回)		6,375	6,290	6,163	6,036	5,866
確保方策(箇所数)		1	1	1	1	1
実績(人)		7,183	7,723	6,701	5,542	4,801
評価	A 計画どおり	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>C</b>	<b>C</b>
	B 課題はあるが前進					
	C 計画を下回る					
	N 実施なし					
具体的な取組みと実施状況 (利用者数・従事者数など)		①にここ広場 延世帯数：729世帯 延人数：1,574人 ②にここサロン 延世帯数：2,587世帯 延人数：5,609人	①にここ広場 延世帯数：817世帯 延人数：1,875人 ②にここサロン 延世帯数：2,530世帯 延人数：5,848人	①にここ広場 延世帯数：623世帯 延人数：1,458人 ②にここサロン 延世帯数：2,231世帯 延人数：5,243人	①にここ広場 延世帯数：498世帯 延人数：1,198人 ②にここサロン 延世帯数：1,888世帯 延人数：4,344人	①にここ広場 延世帯数：422世帯 延人数：916人 ②にここサロン 延世帯数：1,719世帯 延人数：3,885人
事業の結果・成果		地域の子育て支援機能の充実を図り、保護者の不安感等を緩和、または解消できている。	地域の子育て支援機能の充実を図り、保護者の不安感等を緩和、または解消できている。	地域の子育て支援機能の充実を図り、保護者の不安感等を緩和、または解消できている。	利用者は減少しているが、保護者ニーズに応じた子育て支援事業を提供し、子育ての不安感等を緩和、または解消できている。	利用者は減少しているが、保護者ニーズに応じた子育て支援事業を提供し、子育ての不安感等を緩和、または解消できている。
次年度に向けての課題や実施の方向性		子育て相談に応じ、養育支援を行うのはもちろん、親子同士の交流の場を設けることで居場所づくりをしながら親子の孤立感を取り除いていく。	子育て相談や養育支援、親子同士の交流による居場所づくりについては継続し、地域の子育て経験者に協力してもらい、子育ての不安解消につなげる。	子育て相談や養育支援、親子同士の交流による居場所づくりについては継続し、積極的な情報提供を行い、子育てに関する不安解消につなげる。	子育て相談や養育支援、親子同士の交流による居場所づくりについては継続し、積極的な情報提供を行い、子育てに関する不安解消につなげる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため引き続き衛生管理を徹底し、子育て相談及び養育相談に応じられる環境づくりに努める。

砂川市子ども・子育て支援事業計画点検・評価管理票 【地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保内容と実施時期】

事業名	(3) 妊婦健診事業	第4章-6-(3)	計画登載 P.28
-----	------------	-----------	-----------

事業概要 妊婦が定期的に行う健診費用を助成する事業。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込（人）		120	117	115	112	108
確保方策（人）		120	117	115	112	108
実績（人）		151	142	160	142	124
評価	A 計画どおり	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>
	B 課題はあるが前進					
	C 計画を下回る					
	N 実施なし					
具体的な取組みと実施状況 (利用者数・従事者数など)		受診票発行：155人 受診票使用：151人 26年度発行分：44人 27年度発行分：107人	受診票発行：144人 受診票使用：142人 27年度発行分：55人 28年度発行分：89人	受診票発行：161人 受診票使用：160人 28年度発行分：48人 29年度発行分：113人	受診票発行：143人 受診票使用：142人 29年度発行分：48人 30年度発行分：95人	受診票発行：125人 受診票使用：124人 30年度発行分：47人 31年度発行分：78人
事業の結果・成果		妊娠の早期届出と健診の定期受診により妊婦の不安解消と経済的な負担軽減につながっている。平成27年度からは独自事業として、15回目以降の健診及び有料の超音波検査に補助券を発行。	妊娠の早期届出と健診の定期受診により母子の健康管理を行い、妊婦の不安軽減、経済的負担軽減となっている。	妊婦健診受診券及び助成を行うことは、妊婦の経済的負担軽減と安全な出産に向けた健康管理に役立っている。また、未受診の早期発見、医療との連携にも効果的と考える。	妊婦健診受診券及び助成を行うことは、妊婦の経済的負担軽減と安全な出産に向けた健康管理に役立っている。また、未受診の早期発見、医療との連携にも効果的と考える。	補助券使用に関し契約できない道内外の医療機関分は、6月から償還払いによる対応を開始しており、妊婦の経済的負担軽減と安全な出産に向けた健康管理に寄与している。
次年度に向けての課題や実施の方向性		引き続き妊婦が適切な時期に妊婦健診を受診できるよう受診票及び補助券発行時に勧奨する。	引き続き妊婦が適切な時期に妊婦健診を受診できるよう受診票及び補助券発行時に勧奨する。	引き続き、道の協定契約のもと事業を継続し、適切な時期の受診勧奨を行う。市の補助券に関し、契約不可な医療機関受診について対応を検討する。	引き続き、道の協定契約のもと事業を継続し、適切な時期の受診勧奨を行う。市の補助券に関し、契約不可な医療機関受診について対応を検討する。	引き続き妊婦が適切な時期に妊婦健診を受診できるよう受診票及び補助券発行時に勧奨する。

砂川市子ども・子育て支援事業計画点検・評価管理票 【地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保内容と実施時期】

事業名	(4) 乳児家庭全戸訪問事業	第4章-6-(4)	計画登載 P.29
-----	----------------	-----------	-----------

事業概要 生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供などを行うとともに、親子の心身の状況や養育環境などの把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげるものであり、この訪問を、乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、乳児家庭の孤立を防ぐことを目指す事業

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込(人)	98	96	94	92	88
確保方策(人)	98	96	94	92	88
実績(人)	99	96	86	105	79
評価	A 計画どおり	A	A	A	A
	B 課題はあるが前進				
	C 計画を下回る				
	N 実施なし				
具体的な取組みと実施状況 (利用者数・従事者数など)	新生児：44人 未熟児：2人 乳児：53人	新生児：45人 未熟児：5人 乳児：46人	新生児：40人 未熟児：3人 乳児：43人	新生児：46人 未熟児：7人 乳児：52人	新生児：47人 未熟児：1人 乳児：31人
事業の結果・成果	保健師が家庭訪問して養育環境の把握や適切な助言を行うなどきめ細かく支援できている。	保健師が家庭訪問して養育環境の把握や適切な助言を行うなどきめ細かく支援できている。	保健師が家庭訪問を行い、親子の心身の状況や養育環境などの把握や助言を行い、必要に応じて地域社会とつなぐ支援を行っている。	保健師が家庭訪問を行い、親子の心身の状況や養育環境などの把握や助言を行い、必要に応じて地域社会とつなぐ支援を行っている。	保健師が家庭訪問を行い、親子の心身の状況や養育環境などの把握や助言を行い、必要に応じて地域社会とつなぐ支援を行っている。
次年度に向けての課題や実施の方向性	引き続き養育環境の把握に努め、支援が必要な世帯については、関係部局と情報の共有を図る。	引き続き養育環境の把握に努め、支援が必要な世帯については、関係部局と情報の共有を図る。	引き続き親子の健康状況や養育環境の把握や助言を行う。必要に応じて地域社会や関係部局と連携を図る。	引き続き親子の健康状況や養育環境の把握や助言を行う。必要に応じて地域社会や関係部局と連携を図る。	引き続き親子の健康状況や養育環境の把握や助言を行う。必要に応じて地域社会や関係部局と連携を図る。

砂川市子ども・子育て支援事業計画点検・評価管理票 【地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保内容と実施時期】

事業名	(5) 養育支援訪問事業その他要保護児童等に対する支援に資する事業	第4章-6-(5)	計画登載 P.30
-----	-----------------------------------	-----------	-----------

事業概要 養育支援が特に必要な家庭を訪問して、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるための支援（相談支援、育児・家事援助など）を行う事業。正式名称は「養育支援訪問事業及び要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業」

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込（人）		10	10	10	10	9
確保方策（人）		10	10	10	10	9
実績（人）		6	13	13	37	12
評価	A 計画どおり	<b>C</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>
	B 課題はあるが前進					
	C 計画を下回る					
	N 実施なし					
具体的な取組みと実施状況 (利用者数・従事者数など)		保健師が支援を要する妊産婦及び乳児を家庭訪問した実績 乳児：3人 妊婦：1人 産婦：2人	保健師が支援を要する妊産婦及び乳児を家庭訪問した実績 乳児：2人 妊婦：1人 産婦：3人 その他母子保健：7人	保健師が支援を要する妊産婦及び乳児を家庭訪問した実績 乳児：2人 妊婦：1人 産婦：3人 その他母子保健：8人	保健師が支援を要する妊産婦及び乳児を家庭訪問した実績 未熟児：4人 新生児：2人 乳児：9人 産婦：14人 その他母子保健：8人	保健師が支援を要する妊産婦及び乳児を家庭訪問した実績 乳児：5人 産婦：4人 その他母子保健：3人
事業の結果・成果		養育環境の改善や虐待リスクの低減につながっている。	養育環境の改善や虐待リスクの低減につながっている。	親の育児不安に対し助言を行うことで、不安の軽減につながっている。虐待リスクのある家庭へは、養育環境の改善指導を行うなどしながら、状況の把握に努めている。	親の育児不安に対し助言を行うことで、不安の軽減につながっている。虐待リスクのある家庭へは、養育環境の改善指導を行うなどしながら、状況の把握に努めている。	親の育児不安に対し助言を行うことで、不安の軽減につながっている。虐待リスクのある家庭へは、養育環境の改善指導を行うなどしながら、状況の把握に努めている。
次年度に向けての課題や実施の方向性		引き続き乳児家庭全戸訪問や要保護児童対策地域協議会を通じて情報共有を図り、関係機関と連携しながら養育環境の改善に向け実施する。	引き続き乳児家庭全戸訪問や要保護児童対策地域協議会を通じて情報共有を図り、関係機関と連携しながら養育環境の改善に向け実施する。	引き続き乳児家庭全戸訪問や要保護児童対策地域協議会を通じて情報共有を図り、関係機関と連携しながら養育環境の改善に向け実施する。	引き続き乳児家庭全戸訪問や要保護児童対策地域協議会を通じて情報共有を図り、関係機関と連携しながら養育環境の改善に向け実施する。	引き続き乳児家庭全戸訪問や要保護児童対策地域協議会を通じて情報共有を図り、関係機関と連携しながら養育環境の改善に向け実施する。



砂川市子ども・子育て支援事業計画点検・評価管理票 【地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保内容と実施時期】

<b>事業名</b>	<b>(6) 子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）</b>	第4章-6-(6)	計画登載 P.31
------------	---	-----------	-----------

事業概要 保護者が、疾病・疲労などの身体上・精神上・環境上の理由により児童の養育が困難となった場合等に、児童養護施設などにおいて養育・保護を行う事業。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込（人／年）		0	0	0	0	0
確保方策（人／年）		—	—	—	—	—
実績（人／年）		0	0	0	0	0
評価	A 計画どおり	<b>N</b>	<b>N</b>	<b>N</b>	<b>N</b>	<b>N</b>
	B 課題はあるが前進					
	C 計画を下回る					
	N 実施なし					
具体的な取組みと実施状況 （利用者数・従事者数など）		実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし
事業の結果・成果		実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし
次年度に向けての課題や 実施の方向性		事業対象者が限定的であるため、需要の状況に応じて設置を検討する。	事業対象者が限定的であるため、需要の状況に応じて設置を検討する。	事業対象者が限定的であるため、需要の状況に応じて設置を検討する。	事業対象者が限定的であるため、需要の状況に応じて設置を検討する。	事業対象者が限定的であるため、需要の状況に応じて設置を検討する。

砂川市子ども・子育て支援事業計画点検・評価管理票 【地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保内容と実施時期】

<b>事業名</b>	(7) ①子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）【就学児】	第4章-6-(7)	計画登載 P.32
------------	--	-----------	-----------

事業概要 子育ての手助けがほしい人（依頼会員）、子育てのお手伝いをしたい人（協力会員）、両方を兼ねる人（両方会員）に会員登録いただき、子育てのサポートを提供する相互援助活動を行う。就学児対象のファミリー・サポート・センター事業。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込（人日）		14	14	13	12	12
	低学年	5	5	5	4	4
	高学年	9	9	8	8	8
確保方策（人日）		14	14	13	12	12
	低学年	5	5	5	4	4
	高学年	9	9	8	8	8
実績（人日）		4	1	74	139	78
評価	A 計画どおり	C	C	A	A	A
	B 課題はあるが前進					
	C 計画を下回る					
	N 実施なし					
具体的な取組みと実施状況（利用者数・従事者数など）		<利用実績> 利用件数：4人日（低学年） 協力会員：10人 依頼会員：26人	<利用実績> 利用件数：1人日（低学年） 協力会員：9人 依頼会員：22人	<利用実績> 利用件数：45人日（低学年） 利用件数：29人日（高学年） 協力会員：11人 依頼会員：20人	<利用実績> 利用件数：20人日（低学年） 利用件数：119人日（高学年） 協力会員：10人 依頼会員：33人	<利用実績> 利用件数：2人日（低学年） 利用件数：76人日（高学年） 協力会員：10人 依頼会員：47人
事業の結果・成果		一時的に保育に欠ける児童に対し、地域の援助を受けながら育児支援ができる環境が確保されている。	一時的に保育に欠ける児童に対し、地域の援助を受けながら育児支援ができる環境が確保されている。	習い事への送迎などニーズに合わせた援助活動が実施できたことにより利用件数が増加した。	依頼会員に係る傷害保険を無償化したことにより依頼会員数、利用件数が増加した。	習い事への送迎など一時的に保育に欠ける児童に対し、地域の援助を受けながら育児支援ができる環境が確保されている。
次年度に向けての課題や実施の方向性		新規利用を促進するため、依頼会員と協力会員の信頼関係構築に向けた対策が必要である。	新規利用を促進するため、依頼会員と協力会員の信頼関係構築に向けた対策とともに、制度の周知が必要である。	新規利用を促進するためにも、会員数の拡大を図る必要がある。	協力会員の確保に向け、地域で子育てを支える事業趣旨を周知していく必要がある。	利用者が固定化している傾向にある。新規利用を促進し、協力会員を確保するためにも制度の周知が必要である。

砂川市子ども・子育て支援事業計画点検・評価管理票 【地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保内容と実施時期】

<b>事業名</b>	(7) ②子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）【未就学児】	第4章-6-(7) 第4章-6-(8)②	計画記載 P.32 計画記載 P.33
------------	---	-------------------------	------------------------

事業概要 子育ての手助けがほしい人（依頼会員）、子育てのお手伝いをしたい人（協力会員）、両方を兼ねる人（両方会員）に会員登録いただき、子育てのサポートを提供する相互援助活動を行う。市が独自に実施する未就学児対象のファミリー・サポート・センター事業。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込（人日）		300	300	300	300	300
確保方策（人日）		300	300	300	300	300
実績（人日）		43	27	85	38	19
評価	A 計画どおり	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>
	B 課題はあるが前進					
	C 計画を下回る					
	N 実施なし					
具体的な取組みと実施状況（利用者数・従事者数など）		<利用実績> 利用件数：43人日 協力会員：10人 依頼会員：26人	<利用実績> 利用件数：27人日 協力会員：9人 依頼会員：22人	<利用実績> 利用件数：85人日 協力会員：11人 依頼会員：20人	<利用実績> 利用件数：38人日 協力会員：10人 依頼会員：33人	<利用実績> 利用件数：19人日 協力会員：10人 依頼会員：47人
事業の結果・成果		一時的に保育に欠ける児童に対し、地域の援助を受けながら育児支援ができる環境が確保されている。	一時的に保育に欠ける児童に対し、地域の援助を受けながら育児支援ができる環境が確保されている。	一時的に保育に欠ける児童に対し、地域の援助を受けながら育児支援ができる環境が確保されている。	依頼会員に係る傷害保険を無償化したことにより依頼会員数及び利用件数が増加した。	習い事への送迎など一時的に保育に欠ける児童に対し、地域の援助を受けながら育児支援ができる環境が確保されている。
次年度に向けての課題や実施の方向性		就学以降の利用継続および新規利用を促進するため、依頼会員と協力会員の信頼関係構築に向けた対策が必要である。	依頼会員と協力会員の信頼関係構築を目的に、1歳6ヶ月児を対象にお試しクーポンを配付し、新規利用を促進する。	新規利用を促進するためにも、会員数の拡大を図る必要がある。	協力会員の確保に向け、地域で子育てを支える事業趣旨を周知していく必要がある。	利用者が固定化している傾向にある。新規利用を促進し、協力会員を確保するためにも制度の周知が必要である。

砂川市子ども・子育て支援事業計画点検・評価管理票 【地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保内容と実施時期】

事業名	(8) ①一時預かり事業（幼稚園の一時預かり）	第4章-6-(8)①	計画登載 P.33
-----	-------------------------	------------	-----------

事業概要 保護者のパートタイム就労や疾病・出産などにより保育が一時的に困難となった幼児について、保育所その他の場所において、一時的に保育預かりを行う事業。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込（人日）		3,160	3,083	2,900	2,900	2,861
	1号認定見込み	3,160	3,083	2,900	2,900	2,861
	2号認定見込み	0	0	0	0	0
確保方策（人日）		2,900	2,900	2,900	2,900	2,900
実績（人日）		2,916	3,736	4,371	3,623	2,470
評価	A 計画どおり	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>C</b>
	B 課題はあるが前進					
	C 計画を下回る					
	N 実施なし					
具体的な取組みと実施状況（利用者数・従事者数など）		砂川天使幼稚園 預かり保育延利用人数 2,916人（1日平均12人）	砂川天使幼稚園 預かり保育延利用人数 3,736人（1日平均15人）	砂川天使幼稚園 預かり保育延利用人数 4,371人（1日平均18人）	砂川天使幼稚園 預かり保育延利用人数 3,623人（1日平均15人）	砂川天使幼稚園 預かり保育延利用人数 2,470人（1日平均10人）
事業の結果・成果		保護者の保育需要に対応することにより、心理的・身体的負担の軽減と子育てと仕事の両立支援ができています。	保護者の保育需要に対応することにより、心理的・身体的負担の軽減と子育てと仕事の両立支援ができています。	保護者の保育需要に対応することにより、心理的・身体的負担の軽減と子育てと仕事の両立支援ができています。	保護者の保育需要に対応することにより、心理的・身体的負担の軽減と子育てと仕事の両立支援ができています。	保利用人数は減少しているが、保護者の保育需要に対応することにより、心理的・身体的負担の軽減と子育てと仕事の両立支援ができています。
次年度に向けての課題や実施の方向性		引き続き保育の提供体制を確保する。	引き続き保育の提供体制を確保する。	引き続き保育の提供体制を確保する。	引き続き保育の提供体制を確保する。	引き続き保育の提供体制を確保する。

砂川市子ども・子育て支援事業計画点検・評価管理票 【地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保内容と実施時期】

事業名	(8) ②一時預かり事業（保育所等の一時預かり）	第4章-6-(8)②	計画登載 P.33
-----	--------------------------	------------	-----------

事業概要 保護者のパートタイム就労や疾病・出産などにより保育が一時的に困難となった幼児について、保育所その他の場所において、一時的に保育預かりを行う事業。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込（人日）		776	761	731	723	708
確保方策（人日）		3,240	3,240	3,240	3,240	3,240
保育所の一時的預かり		2,940	2,940	2,940	2,940	2,940
実績（人日）		384	413	356	732	679
評価	A 計画どおり	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>A</b>	<b>B</b>
	B 課題はあるが前進					
	C 計画を下回る					
	N 実施なし					
具体的な取組みと実施状況（利用者数・従事者数など）		ひまわり保育園 一時保育利用延人員：384人	ひまわり保育園 一時保育利用延人員：413人	ひまわり保育園 一時保育利用延人員：356人	ひまわり保育園 一時保育利用延人員：732人	ひまわり保育園 一時保育利用延人員：679人
事業の結果・成果		保護者の保育需要に対応することにより、心理的・身体的負担の軽減と子育てと仕事の両立支援ができています。	保護者の保育需要に対応することにより、心理的・身体的負担の軽減と子育てと仕事の両立支援ができています。	保護者の保育需要に対応することにより、心理的・身体的負担の軽減と子育てと仕事の両立支援ができています。	保護者の保育需要に対応することにより、心理的・身体的負担の軽減と子育てと仕事の両立支援ができています。	保護者の保育需要に対応することにより、心理的・身体的負担の軽減と子育てと仕事の両立支援ができています。
次年度に向けての課題や実施の方向性		引き続き保育の提供体制を確保する。	1日単位であった利用料金に短時間料金を設定するなどより利便性の高い運用を検討し、保護者にとり利用しやすい保育環境を整える。	保育士不足による利用制限で実績数の減は見られるが、今年度は新たに短時間料金を設定したことにより利用者の利便性は向上している。次年度は保育士確保に加え、利用者増を図る周知活動を積極的に行う。	保育士の確保に以前として課題はあるものの、勤務シフトを調整することで利用制限をすることなく事業を実施した。引き続き保護者が利用しやすい保育環境を整える。	通常保育の入所児童数が増加傾向にあることから、次年度以降は、待機児童の受け皿として利用されることが予想されるため、保護者の保育ニーズに応えられる保育体制を整える。

砂川市子ども・子育て支援事業計画点検・評価管理票 【地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保内容と実施時期】

事業名	(9) 時間外保育事業（延長保育）	第4章-6-(9)	計画登載 P.34
-----	-------------------	-----------	-----------

事業概要 保護者の就労形態の多様化、長時間の通勤等に伴う延長保育需要に対応するため、保育標準時間又は保育短時間を超えて、朝は午前7時15分から、夜は午後7時00分までの保育を実施する事業。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込（人）		77	75	72	71	70
確保方策（人）		80	80	80	80	80
実績（人）		75	89	90	93	105
評価	A 計画どおり	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>
	B 課題はあるが前進					
	C 計画を下回る					
	N 実施なし					
具体的な取組みと実施状況 (利用者数・従事者数など)		登録者数：75人 (平成28年4月現在) 利用延人員：1,399人 ひまわり保育園：671人 さくら保育園：560人 空知太保育所：168人	登録者数：89人 (平成29年4月現在) 利用延人員：1,020人 ひまわり保育園：331人 さくら保育園：352人 空知太保育所：337人	登録者数：90人 (平成30年4月現在) 利用延人員：937人 ひまわり保育園：434人 さくら保育園：265人 空知太保育所：238人	登録者数：93人 (平成31年4月現在) 利用延人員：1,545人 ひまわり保育園：594人 さくら保育園：445人 空知太保育所：506人	登録者数：105人 (令和元年4月現在) 利用延人員：1,074人 ひまわり保育園：313人 さくら保育園：423人 空知太保育所：338人
事業の結果・成果		時間外保育を必要とする保護者の需要に対応し、子育ての支援体制が構築できている。	時間外保育を必要とする保護者の需要に対応し、子育ての支援体制が構築できている。	時間外保育を必要とする保護者の需要に対応し、子育ての支援体制が構築できている。	時間外保育を必要とする保護者の需要に対応し、子育ての支援体制が構築できている。	時間外保育を必要とする保護者の需要に対応し、子育ての支援体制が構築できている。
次年度に向けての課題や実施の方向性		引き続き時間外保育の提供体制を確保する。	引き続き時間外保育の提供体制を確保する。	引き続き時間外保育の提供体制を確保する。	引き続き時間外保育の提供体制を確保する。	引き続き時間外保育の提供体制を確保する。

砂川市子ども・子育て支援事業計画点検・評価管理票 【地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保内容と実施時期】

<b>事業名</b>	<b>(10) 病児保育事業、子育て援助活動支援事業（病児・緊急対応強化事業）</b>	第4章-6-(10)	計画登載 P.35
------------	---	------------	-----------

事業概要 病気にかかっている子どもや回復しつつある子どもを病院等の医療機関や保育施設の付設の専用スペース等で看護師等が一時的に預かる事業。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込（人日）		918	900	864	855	837
確保方策（人日）		—	—	879	879	879
病児保育事業		—	—	879	879	879
子育て援助活動支援事業		—	—	—	—	—
実績（人日）		0	12	131	127	235
評価	A 計画どおり	<b>N</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>
	B 課題はあるが前進					
	C 計画を下回る					
	N 実施なし					
具体的な取組みと実施状況（利用者数・従事者数など）		実施なし	平成28年10月24日に市立病院南館に開設、事業開始。隣接する院内保育と同じ㈱プライムツワに事業を委託。定員数：3人/日。登録数：46人	事業委託：㈱プライムツワ 定員数：3人/日 対象：生後6ヶ月から小学校3年生まで 登録数：70人	事業委託：㈱プライムツワ 定員数：3人/日 対象：生後6ヶ月から小学校3年生まで 登録数：82人	事業委託：㈱プライムツワ 定員数：3人/日 対象：生後6ヶ月から小学校3年生まで 登録数：63人
事業の結果・成果		実施なし	病中又は病後で、保育所等に子どもを預けられない場合で、どうしても仕事を休めない保護者に対してのセーフティネットとして機能している。	開設から1年を経過し、ある程度周知が図られたことで、利用者が増えた。勤務等の理由により家庭で保育できない保護者のセーフティネットとして機能している。	昼食の提供は、保護者から概ね好評を得ている。勤務等の理由により家庭で保育できない保護者のセーフティネットとして機能している。	利用経験のある世帯におけるリピート率が高い。勤務等の理由により家庭で保育できない保護者にとって安心して利用できる事業として機能している。
次年度に向けての課題や実施の方向性		砂川市立病院内に病児・病後児保育の専用スペースを確保するとともに事業の実施体制を確立する。平成28年度中に事業を開始する。	現状保護者の満足度も高く、引き続き安全な保育を実施する。利用にあたって、感染症等の利用基準が厳しすぎるとの声もあるため、医師と協議しながら、より利便性の高い運用を検討していく。	可能な範囲で利用基準を緩和したもの、依然として不満の声はある。一方で利用した保護者の満足度は高い。次年度より要望のあった昼食の提供を開始し、引き続き子どもの安全安心な環境整備を図る。	保護者の満足度も高く、引き続き安全な保育を実施する。	未利用者から利用の目安の柔軟な対応を求める声がある一方、利用者からは環境や保育士の配慮が評価されている。医師と協議しながら、より利便性の高い運用を検討していく。

砂川市子ども・子育て支援事業計画点検・評価管理票 【地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保内容と実施時期】

事業名	(11) 放課後児童健全育成事業	第4章-6-(11)	計画掲載 P.35
-----	------------------	------------	-----------

事業概要

主に保護者が就労等により昼間は家庭にいない小学生に、適切な遊びや生活の場を提供して、児童の健全育成を図る事業。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込 (人)	165	155	155	144	139
低学年	130	122	124	114	111
高学年	35	33	31	30	28
確保方策 (人)	160	160	160	160	160
低学年	130	130	130	130	130
高学年	30	30	30	30	30
実績 (人)	201	226	224	213	238
評価	A 計画どおり	A	A	A	A
	B 課題はあるが前進				
	C 計画を下回る				
	N 実施なし				
具体的な取組みと実施状況 (利用者数・従事者数など)	入所人数 ①上期4月1日～：167人 低学年：118人 高学年：49人 ②下期10月1日～：201人 低学年：142人 高学年：59人	入所人数 ①上期4月1日～：208人 低学年：144人 高学年：64人 ②下期10月1日～：226人 低学年：159人 高学年：67人	入所人数 ①上期4月1日～：209人 低学年：144人 高学年：65人 ②下期10月1日～：224人 低学年：158人 高学年：66人	入所人数 ①上期4月1日～：203人 低学年：138人 高学年：65人 ②下期10月1日～：213人 低学年：148人 高学年：65人	入所人数 ①上期4月1日～：236人 低学年：144人 高学年：92人 ②下期10月1日～：238人 低学年：148人 高学年：90人
事業の結果・成果	放課後児童が安全に過ごせる場を確保し、保護者の子育てと仕事の両立を支援できている。	放課後児童が安全に過ごせる場を確保し、保護者の子育てと仕事の両立を支援できている。	放課後児童が安全に過ごせる場を確保し、保護者の子育てと仕事の両立を支援できている。	放課後児童が安全に過ごせる場を確保し、保護者の子育てと仕事の両立を支援できている。	放課後児童が安全に過ごせる場を確保し、保護者の子育てと仕事の両立を支援できている。
次年度に向けての課題や実施の方向性	南学童保育所を廃止し、新たに砂川学童保育所、豊沼学童保育所を各小学校内に開設する。また、中央学童保育所も小学校内に移設することにより、全ての学校区で学童保育所を開設していく。	北光小以外の小学校に学童保育所を設置することができ、より安心安全な保育を実施することができているが、指導員不足が課題となっている。	入所人数も前年度と同程度で推移しており、待機児童も0で運営できている。安心安全な保育を実施することができているが、昨年に続き指導員不足が課題となっている。	入所人数は微減しているが、引き続き待機児童なく運営できている。安心安全な保育を実施することができているが、退職を予定している指導員がおり、指導員の確保が課題となっている。	入所人数は増加し、待機児童なく運営できている。安心安全な保育を実施することができているが、指導員の不足や高齢化により年々運営が厳しくなっている施設があることから、学校内設置及び公営化を検討する必要がある。